

あしや 市議会 だより

2019年 8月
No.109

笑顔を絶やさずもう一歩前進!!

中学校 部活動 紹介

山手中学校女子バスケットボール部
部員総数16名で活動しています。
秋の新人戦で市内大会優勝と阪神大会ベスト4を目指します!



- 注目の議案をPickup
- 一般質問
- 議会新体制の紹介



芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

注目の議案

令和元年
第2回定例会
6月21日～
7月17日
27日間

今定例会では全部で23件(市長提出議案…18件、議員提出議案…1件、陳情…4件)の議案等が審議されました。
今号では、この中から3つの議案をピックアップして紹介します。

Pick up 1

令和元年度芦屋市一般会計補正予算第1号(第47号議案)
プレミアム付商品券事業に要する経費や
子ども・子育て支援システムの改修経費を追加

【内容】
本年10月の消費税率の引き上げに伴い、子育て世代などの対象者※1の消費への影響を緩和するとともに、地域の消費を支えるために実施するもので、本事業に要する経費(4億9,561万2千円)を追加するもの。

※1 対象者は①または②に該当する方

①平成31年度(2019年度)住民税が課税されていない方(住民税が課税されている方と同一生計の配偶者・扶養親族および生活保護を受給されている方などを除く)。
②平成28年(2016年)4月2日から令和元年(2019年)9月30日までの間に生まれた子が属する世帯の世帯主

プレミアム付商品券は対象者に対し、1冊5,000円(500円×10枚綴り)の商品券を4,000円で販売し、おひとり最大5冊まで購入できます。

可決
(賛成多数)

【内容】
子ども・子育て支援システムの改修
本年10月から開始される幼児教育・保育の無償化に伴い、新たに認可外保育施設利用者の管理等を行うためのシステム改修経費(677万2千円)を追加するもの

質疑

Q市独自のシステムを採用しているのか。

A 基本的にはパッケージシステム※2であるが、必要最小限のカスタマイズ※3を加えている。

Qパッケージシステムであれば、改修費用に677万円もかからないのではないのか。

A 一部カスタマイズしている部分があり、今回の改修の影響を検証する必要もあるため、金額的には妥当であると考えている。

【反対討論】

●プレミアム付商品券については、商品券購入の手間や協力店が限定されているなどの使いにくさに加え、対象も限定的で多くの市民にとって消費税増税の負担軽減にはならない。

●子ども・子育て支援システム改修については、公的な管理や質の担保が難しい認可外の園に公費を投入するのではなく、認可保育園を増やすべきであると考えるため反対する。



詳細はコチラ▶
(市ホームページ)

Pick up 2

芦屋市立幼稚園の設置及び管理に関する条例及び芦屋市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正(第42号議案)
伊勢幼稚園と新浜保育所を閉園(所)

【内容】
平成29年2月に示された「市立幼稚園・保育所のあり方」(幼稚園・保育所の再編計画)に基づき、令和3年3月31日をもって伊勢幼稚園と新浜保育所を閉園(所)するもの※4

※4 幼稚園・保育所の再編計画では、その後、西蔵町市営住宅敷地に「(仮称)市立西蔵認定こども園」を新設(令和3年4月開園)し、伊勢幼稚園敷地に私立幼保連携型認定こども園を誘致(令和4年4月開園)する予定となっている。

質疑

Q今まで市民の方と真摯に向き合い丁寧な議論を積み重ねてきたという思いはあるのか。

A 「納得できない」との声があったのかもしれないが、就学前の子どもの将来を見据えた施策であるというところをできるだけ丁寧に、回数を重ねて説明し、「意見を聞いた中で修正すべきところは修正してきた」。

Q 先行して開園している精道こども園の保護者からは、「質は変わらない」と説明しておきながら、幼稚園のよさが引き継がれていない。「保育所寄りの施設になっている」との声を聞くが、市はどのような認識か。

A 質の面では、幼稚園と保育所のそれぞれの先生が経験してきたことが提供できている。ただし、こども園はあくまでも0歳からのお子さんを預かる場所であるため、幼稚園と状況が少し違うところとは「理解いただきたい」。

Q 幼稚園や保育所職員はこども園への異動の流れはどのようになっているのか。

A 保育所については、3月下旬に内示し、4月1日からこども園で勤務することになるが、毎年12月に今後の勤務先の希望を聞く機会があるため、それを踏まえて十分に配慮していく。幼稚園については、毎年意向調査を行っているが、こども園への異動を希望する職員を前年から廃園予定の幼稚園に配置し、園児と

可決
(賛成多数)

一緒にこども園に移っていただくような手法をとりたい。

【賛成討論】

●前に進むことをやめてしまえば、かえって子どもやその保護者に迷惑がかかってしまう。という新市長からも「子ども・子育ての施策に力を入れていく」との所信表明があったため、幼保の再編が唐突に決められたことに対しては「じくじたる思いがあるが、今回は前に進むということに賛成する」。

●市立幼稚園・保育所のあり方「は、市全体として待機児童の解消方法を考えたものであり、0歳から2歳までの子どもたちをひとりでも多く救おうと、これまで多くの時間を費やしてきたものである。この流れを進めていく議案であるため賛成する」。

【反対討論】

●伊勢幼稚園や新浜保育所の廃園(所)は待機児童の解消にはならず、それを理由にした大規模な統廃合については非常に疑問がある。また、子ども・子育て支援新制度の中で、地域のさまざまな子育て支援の拡充や質の向上を目指すという方針が、質についての議論がされておらず、どうしても数合わせの統廃合に感じてしまう。

●今回の統廃合計画に対しては、直接請求や多くの陳情が提出されるなど、保護者や地域住民の声を無視してきたという点でも非常に大きな課題があるため反対する。

Pick up 3

精道中学校建替工事請負契約を締結(第49号議案)
精道中学校を建て替えへ

【内容】
校舎棟の老朽化や中学校給食導入の必要性から、校舎棟、体育館棟などの建て替えやそれに伴う工事を行うために請負契約を締結するもので、条件付き一般競争入札の結果、村本建設株式会社と5億8,600万円を契約しようとするもの。工事期間は令和4年10月31日まで

質疑

Q入札に応じた業者が2者であった理由は?

A 工事期間が約4年間にわたり、その間、技術者を拘束すること、また、最近の台風などの災害により、業者の手持ちの仕事が多くなってきたことが大きな要因と考えている。

Q 精道中学校は平坦な場所にもかかわらず、山中中学校の建て替えと近い金額になった理由は?

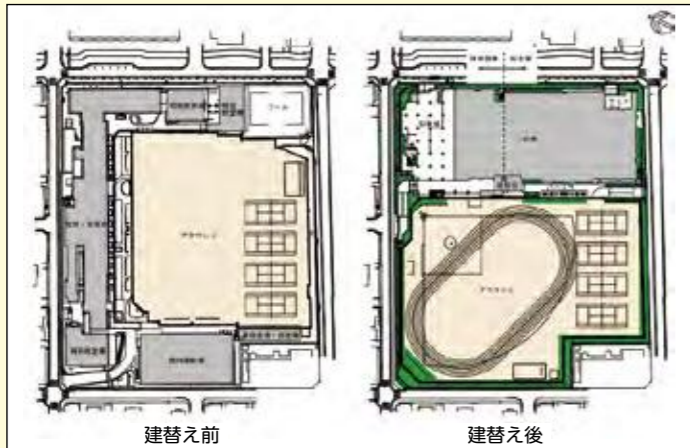
A 精道中学校は延床面積が大きいこと。また、地盤が少し弱いので、杭が必要になったことが主な要因と考えられる。

Q 屋上にプールを設置することになった理由は?

A 精道中学校の敷地が狭く、グラウンドの面積を少しでも広くすることが一番大きな要因であるが、高低差による圧力を使って、プールの水を災害時のトイレや消防用水として使用できる。

【賛成討論】

●山中中学校と同様に、給食の開始時期のプレッシャーがある中での着手・施工となるが、安全第一で進めるようお願いする。



建替え前

建替え後

※全ての議案等の内容と審議結果は11ページの「審議結果」を一覧をご覧ください。

一般質問

7月3日～5日の3日間に19人の議員が、計47項目の一般質問を行いました。内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



大塚のぶお BEASHIYA

新たな認知症の取り組みを



議員 認知症対策として国保の健診の中に無料の予防検診を盛り込むことや神戸市等の自治体で導入している賠償責任保険の保険料を市が負担する事故救済制度を導入すべきと考えるがどうか。

市 市ホームページの認知症簡易チェックサイトや介護予防教室での基本チェックリストの活用など、本人に気づきを促し、必要に応じて福祉・医療の相談窓口につなぐ取り組みを行っており、予防を目的とする検診を導入する考えはない。

事故救済制度は他自治体の動向を注視するとともに、国へ支援制度の創設を要望していく。



市職員の手当の見直しについて

議員 財政状況が厳しい中で市職員の高給与批判の要因である手当を見直す考えはないか。

市 給与制度全体について国の制度を基本として抜本的に見直しを行ってきたが、住居手当は、持ち家に係る手当が国基準と異なる取扱いとして残っているため、県からの助言や近隣市町の状況も踏まえて、見直しに向けた協議を進めている。

その他の質問

●選挙公報の配布の遅延、見直しについて

松木義昭 自由民主党芦屋市議会議員団

みどり地域生活支援センターについて



みどり地域生活支援センター

議員 64歳以下の障がい者は、障がい福祉サービスを利用できるが、65歳になると介護保険サービスに変更しなければならない。その結果、自己負担額が増えたり、サービス内容が変わってしまい、生活に悪影響が及び、みどり地域生活支援センターで今後65歳になる方は引き続き施設を利用できないか。

市 みどり地域生活支援センターで65歳を迎えられる方は、障がい福祉サービスに相当する介護保険サービスがある場合は原則介護保険が優先されるが、移行後も安心して利用できるように、障がいの程度やご本人・ご家族の意向も確認しながら丁寧に対応している。同センターで介護保険サービスを提供するためには共生型サービスの指定を受ける必要があり、障がいのある人と高齢者双方の支援ができる職員の育成や施設改修が必要となる。また、特別支援学校卒業後の受け入れ先としての役割も担っているため、同センターの運営協議会のご意見をお聞きし、慎重に検討する。

その他の質問

●市長の政治姿勢について

帰山和也 公明党

新市長の政策方針について



議員 ①市立幼稚園・保育所のあり方②JR芦屋駅南地区再開発事業③放課後児童クラブ等の政策を計画通り継続するのか。

市 ①着実に取り組み、施設整備を進めていく。②魅力ある駅前空間を創出するよう推進していく。なお、多額の事業費を要することから、費用対効果も踏まえ、より慎重に取り組み。③相互理解を深め、より良い事業にするため関係者が話し合う場を教育委員会とともに設ける。



JR芦屋駅南地区の整備イメージ図

議員 市長選時の政策集に掲げた事業の優先度と財政規律についての考えは？

市 政策集に掲げた新たな政策の実施については、既存の事業の見直しや是非も含め、現行計画との整合や財政状況を踏まえ総合的に判断していく。

高齢者等の外出支援策について

議員 高齢者バス半額助成を利用できない方や妊婦、子育て世代への外出支援策として、タクシー運賃助成制度を求めます。

市 タクシー運賃の一部助成は、現在、公共交通機関の利用が困難な在宅の寝たきりの高齢者などを対象に実施しており、全世代型タクシー初乗り運賃助成事業の実施は考えていない。

青山暁 BEASHIYA

JR芦屋駅南の再開発について

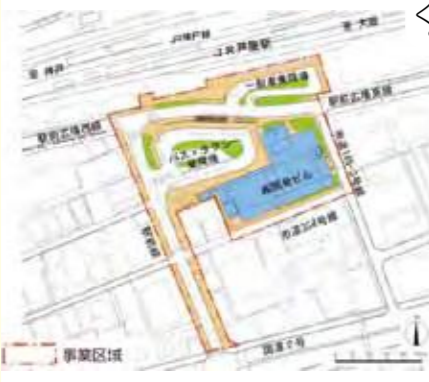


議員 山中市長時代にかなりのことが決定しているJR芦屋駅南地区の再開発事業であるが、芦屋の玄関口として、芦屋の未来を担う大規模開発であるこの事業に対して、いとう新市長はこれまでの修正や変更が可能と考えるのか。

市 本市の南玄関口としてふさわしい景観と、交通結節機能の核としての機能を向上させるなど、魅力ある駅前空間を創出するよう推進していく。なお、多額の事業費を要することから、費用対効果も踏まえ、より慎重に取り組み。

議員 再開発ビルの公益施設に市立病院や美術館の一部などの設置は可能か。

市 公益施設は、芦屋病院、美術博物館および図書館の機能の一部を個別に設置する考えではなく、さまざま機能を有機的に結合させる手法により、市民の皆さまのご意見やご提案の内容を含む多様なサービス、運営方法の検討を進めていく。



JR芦屋駅南地区の事業区域

その他の質問

●選挙時の市広報について

川島あゆみ 日本共産党芦屋市議会議員団

公立幼稚園で3年保育の実施を



議員 市長の「試験的に1園で3年保育に取り組み」という公約の実現の可能性は？

また、10月に始まる「幼児教育無償化」で3年保育のニーズが高まると思われるが、具体的な開始時期について問う。

市 令和3年4月から1園での試験実施に向け、教育委員会と協議調整を行う。教委保護者の皆さま、私立幼稚園ごども園など関係者への説明を行う期間を確保すること、また、市民ニーズについては「市立幼稚園・保育所のあり方計画」の施設が整ってから検証すべきであると考え、開始時期を令和3年4月とした。

学童保育の今後について

議員 半数の学童保育が民間委託されたが、残る公設公営の学童保育は守るという考えか。

教委放課後児童クラブの運営体制については、今後の児童数の推移や育成の状況等を検証していく。

議員 待機となった一部の児童は学校区外の学童保育にタクシー等で通っている。別の方法での待機解消を求めます。

教委学校内の学童保育が最も良い形であると考えているが、施設整備等の課題があるため、現時点では待機児童解消策として送迎方式を選択したものである。

その他の質問

●南芦屋防潮堤の景観配慮について

福井美奈子 自由民主党芦屋市議会議員団

高齢者対策について



議員 フレイルは高齢者が健康から要介護に移行する中間の状態のこと、身体的、精神的、心理的、社会的な問題を含む。早期対応が、健康に近い状態への改善や介護予防につながるため、その重要性を啓発すること、市民によるフレイルサポーター制度を導入することを提案するが見解を問う。

市 フレイル対策については、出前講座や特定健康診査等の案内通知で周知・啓発に取り組んでおり、フレイルサポーターの導入までは考えていないが、フレイル状態にある高齢者が介護予防事業につながるよう保健事業と介護予防の一体的な取り組みについて研究していく。

早期対応が重要です!!



栄養、運動、社会参加がフレイルの予防に

その他の質問

●人材育成について

日本国憲法について市長はどのような認識か

議員 日本国憲法について市長の認識は？
憲法との関係で特に意を用いて進めようと考えている点、施策は何か。



市 日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則とする優れた憲法で、再び戦争の惨禍が起こらないよう、国民の意思によって守り続けられたものであると評価している。

特に意を用いて進める点として、具体的には中長期的な方向性を示す情報の速やかな公開と住民との対話を大切にしていこう。

国民健康保険料と子ども医療費無料制について

議員 国民健康保険料の高さをどう受け止め、負担軽減についてはどう考えているのか。子ども医療費無料制の対象年齢拡大と所得制限の緩和・廃止の考えは？

市 国民健康保険は構造的な問題を抱え、保険料負担も重くなっている。持続可能な制度とするため全国市長会を通じて抜本改革を国に提言している。

子ども医療費助成制度は、平成27年7月から中学校3年生までを対象に無料化を実施し、他の事業とあわせて子育て支援策を推進しているため、現在のところ所得制限基準の緩和や廃止、対象年齢の拡大は考えていない。



芦屋市屋外広告物条例について

議員 市民に屋外広告物条例を周知し、より正確に理解していただくために、また是正がスムーズに行われるための今後の対策は？



市 改修・撤去に係る補助事業制度を活用いただくなどにより、本年6月末時点で、平成29年7月の調査時点から、不適格の物件数・個数ともに4割減少した。引き続き、「屋外広告物ガイドライン」の活用による丁寧な説明に努め、ご理解・ご協力が得られるように取り組む。

芦屋川・宮川の治水工事について

議員 堤防を越水し浸水被害が出た箇所のかさ上げ工事は当然だが、越水してなくても万が一に備えて治水工事を行うことが防災と考えるが市の見解は？

市 宮川は、出水期に備え、既に県が仮設土のうを設置し、令和2年5月末には国道43号から臨港線までの区間の河川堤防のかさ上げおよび橋梁部の対策工事が完了すると確認している。芦屋川では現在、治水工事の予定はないが、昨年度の浸水被害にかかわらず、県が優先度の高い箇所への高潮対策に取り組みと聞いている。



増水した芦屋川

市民参画について

議員 新市長として、「市民参画」をどのように捉え、市政にどう反映させるのか。



市 市民参画は、住みよいまちをつくるために重要である。10月にランチミーティング&オープンミーティングを市内8か所で開催予定である。また、課題別タウンミーティングも実施し、ご意見を市政へ反映できるように努める。

議員 「市民」の定義がより明確な自治基本条例の制定を求める。

市 自治基本条例は、「芦屋市市民参画及び協働の推進に関する条例」があることから制定までは考えていない。

芦屋の交通政策について

議員 交通空白地へのコミュニティバス運行や心的障がい者へのバス運賃助成等により、交通政策における「安全安心のまちづくり」を進めてはどうか。

市 コミュニティバスの運行は、総合交通戦略において、地元機運の醸成に応じて、既存公共交通等を補完する施策を市民事業者および行政が連携協働しながら検討する。

心的障がいのある人への交通費助成は、公共交通事業者が主体的に実施するものであり、広域での対応が必要であるため、市独自では考えていないが、全国市長会を通じて国に要望するとともに、近隣自治体と連携して公共交通事業者へも要望している。



たかおか 知子 あしやしみんのこえ

通学路・学区の見直しについて

議員 公立小学校の児童数は、学区間で差が大きく遠距離の児童も多い。距離の基準だけでは熱中症や犯罪から守る安全確保の実態に合わない。学区や適正配置についての見解を問う。



教委 校区の見直しは、中学校区にも連動し、地域コミュニティ活動などへの影響も考えられるため、緻密な将来推計と一定の安定性が必要である。今後、精道中学校の建て替え完了後の生徒数の推移をよく見極め、検討していく。

通学路の環境は、見守り活動や巡回パトロールの継続に加えて、防犯教室の一層の充実、「110番の家」店プレートの掲示増など、地域の方の協力もいただきながら、より安全な環境づくりに努める。



地域コミュニティの拠点について

議員 小学校がない地域で、小学校と同等の避難所施設の設置や備蓄、地域コミュニティの核はできているのか。

市 人口動向などを踏まえた長期的な視点を持って策定した公共施設等総合管理計画に基づき、統廃合・複合化等による最適な配置を進める必要があるため、新たな設置は、総合的な施設の再配置の中で判断する。なお、避難所の整備にも既存施設を活用している。

その他の質問
●無電柱化エリアにおける浸水対応について
●働きの場の方向性について

ネーミングライツの売買による財源確保について

議員 将来の財政不安、公共施設管理コストの高騰対策として、市内の公共施設のネーミングライツ売却を活用して財源を創り出すことはできないか。近年では、スポーツ施設のみならず、歩道橋なども対象となっている



市 ネーミングライツの導入は、公共施設等の良好な維持管理に係る財源を確保する官民連携の手法として一定の効果があると考えられるため、企業などへのサウンディング調査を実施した上で検討していく。



近年ではスポーツ施設のみならず、歩道橋なども対象となっている

その他の質問
●創業支援策の強化について
●防犯対策の強化について

※1 ネーミングライツとは、公共施設等に名称を付与する権利(命名権)およびこれに付帯する諸権利等のこと。企業にとっては宣伝効果が期待でき、ネーミングライツ料は市の施策の財源となる。

※2 サウンディング調査とは、公有地活用や民間活力の導入などの官民連携事業において民間事業者が参加しやすい公募を行うために、事業化検討段階で民間事業者との対話を通じて市場性の有無やアイデアの収集等を行うこと。

長谷 基弘 あしやしみんのこえ

芦屋国際文化住宅都市の歴史と市長の目指すもの

議員 昭和24年、芦屋市は戦災都市指定を受けたものの、高度な文化住宅都市として特色を出すのは困難であったことから、国際文化住宅都市建設法による国の補助を得るといふ狙いがあった。この史実を踏まえ、市長の目指す新たな「国際文化住宅都市」芦屋の展開とは何か。



また、キャッチフレーズや新たな姉妹都市提携を考えてはどうか。

市 市の目指す「開かれた市政」は、市民の皆さまが文化の発展やまちづくりに参加し、芦屋市での生活をより楽しむことができる「市民が主役のまちづくり」である。本年10月に市内8か所での開催を予定しているランチミーティング&オープンミーティングなどのご意見を市政に反映できるよう努める。

国際交流については、モンテペロ市との親善を促進することが重要であると考えており、継続して両市の絆をさらに深めるとともに、より多様な文化交流について検討していく。



光あふれる国際文化住宅都市を目指して

読書通帳の導入について

議員 読書通帳は過去に何度か提案はあったものの、高コストであったため導入は見送られていたが、省コスト化が進み、導入の自体も増えていることを受けて、導入の考えはあるか。



教委 読書通帳には、預金通帳のように機械で印字できるもの、シールに印字して手帳に貼るもの、手書き式の3種類があるが、機械式については機器のコストは下がっているものの、システム構築費用は、今なお高額である。

本市の図書館では手書き式の読書通帳を作成し、本年4月のリニューアルオープンを機に試行的に導入している。



読書通帳機

保育所の散歩ルートの安全について

議員 滋賀県大津市の園児を巻き込んだ交通事故を受けて不安を抱える市民がいるが、市ではどのような対応をしたのか。

市 所長会および園長会で散歩等の経路を再確認するように注意喚起を行い、安全に対する認識を共有し、散歩等の経路について点検と見直しを実施した。さらに、園外保育時の注意点をまとめたマニュアルや近隣の危険箇所を記したマップを今後作成し、保護者、関係者と情報共有を図っていく。

田原 俊彦 公明党

防災対策について

議員 災害情報を発信する時、発信の遅れや入力ミスを防ぐため、災害情報一斉送信システムを導入してはどうか。



市 災害情報発信では、ホームページやSNSなど、媒体の特性に応じた発信が効果的と考えられているが、迅速な伝達や作業の効率化も重要であるため、本市の現状を踏まえた一斉送信機能の導入を検討する。



電源を切っても緊急時には自動的に起動して災害情報を入力できる「緊急告知ラジオ」

その他の質問
●福祉行政について

市 昨年度実施した自治会アンケートで、自治会に所属していない集合住宅との連携が、地域の防災力向上に有効との結果が得られたため、防災マンション認定制度など防災活動への参加促進につながる制度を検討する。

議員 小学校区単位で地域と学校を交えた防災会議の開催を求める。

市 小学校区単位での会議は、地域の防災力向上に有効であることから、教育委員会とも連携し、地区の状況に応じて開催していく。

市庁舎の効率的な運用を



議員 市職員の労働組合関連事務所が市から無償提供されている。備蓄倉庫などに使用してはどうか。市民団体は市施設を有償使用しており、その妥当性を問う。



組合事務所のドアに掲示されていたステッカー

市 本市には、勤労者の福祉向上のための施設がないことから、本庁舎の一部を行政財産目的外使用として、無償での使用許可をしているが、本市の施設における他の目的外使用とのバランスや他市における事例等も研究し、適切に対応する。

議員 放課後児童クラブの半分を民間委託したが、当事者抜きで一方的に教育委員会が決めたとによって、行政不信へとつながっている。いとう市長には、当事者との話し合いの場を設けてもらいたい。



放課後児童クラブの充実について

市 放課後児童クラブは、公営・民営にかかわらず、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整えることが第一であると考えている。事業をより良いものとするため、関係者が話し合う場を教育委員会とともに設けることを考えている。

免許返納について



議員 高齢者ドライバーの免許返納は広報による啓発とインセンティブが鍵である。今までのような通り一辺のやり方では啓発に繋がらない。また、インセンティブについて芦屋市内の企業、店舗等への取り組みが弱い。市長は今後どのような取り組みをしていくのか。

市 高齢で免許を自主返納された方への特典は、タクシー乗車運賃の1割引など県内で約250の特典があり、市内でも3つの店舗で割引のご協力をいただいているが、芦屋警察と協力して商工会などに働きかけ、魅力ある特典を充実できるよう努める。なお、老人クラブ連合会には自主返納制度の説明をしているが、さらに広報・周知を行っていく。



高齢者には小さなお子さんからの訴えが効果的ではないか

その他の質問
●未就学児に対する交通安全対策について
●地域として子どもを見守る対策について
●小学校の通学路の点検について

市立幼稚園の3年保育を今こそ



議員 国の方針で幼児教育無償化の流れを受け、2年保育で取り組んでいる市立幼稚園の利用者が激減している。施設の有効利用と郷土愛を育む芦屋教育を提供する観点から3年保育を実施するべきと考える。また、延長保育も整備し待機児童の解消にもつながらる施策となるよう求める。

教委 市立幼稚園の園児数は今年度は408人で、昨年度と比較すると98人減少している。主な要因は、保育ニーズの高まりや就学前児童数の減少のほか、市外の私立幼稚園への入園も影響していると考えている。市立幼稚園には就学前施設の核としての果たすべき役割や、これまで担ってきた社会的存在意義があると考えているため、今後の社会情勢の変化や保護者のニーズ等を見据える中で一定数は存続させる必要があると考えている。



未就学児と一緒にオープンスクール風景

その他の質問
●歩行者交通の安全確保について
●山手地域の「ミニミニバス」運行について
●公園道路でお茶栽培して緑茶・紅茶で楽しもう

可決した決議

今定例会で下記の内容の決議を全員一致で可決しました。

精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める決議

可決
(全員一致)

障害者基本法は、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、障がい者の自立及び社会参加の支援等に向けた基本的理念を定めている。

また、障害者の権利に関する条約が批准され、共生社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を社会において推進することを目的とした「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が平成28年4月1日に施行された。

障がい者の自立や社会参加の促進のためには、公共交通機関などの移動手段の確保が必要不可欠である。

このため、鉄道、バスをはじめとする公共交通機関においては、運賃割引制度を設け、障がい者の経済的負担の軽減を図っている。

しかし、その多くは、身体障がい者及び知的障がい者を適用対象とするものであって、精神障がい者を対象とするものは極めて少なく、大きな格差が生じている。

よって芦屋市議会は、交通事業者に対し、公共交通機関の運賃割引制度について精神障がい者も、身体障がい者及び知的障がい者と同様に適用対象とするよう強く求める。

市議会紹介DVDを作成しました

市民の皆さまに市議会についてより知っていただくために、芦屋市議会の役割や仕組み、会議の流れといった内容等を紹介するDVD『市議会って何をしているところ?』を作成しました。写真やイラスト、アニメーションなどを盛り込んだ約20分の映像です。是非一度ご覧ください。



はじめまして。僕の名前は「めえぞう」。
今から800年前の平安時代から芦屋に住んでいる

「市議会って何をしているところ?」(オープニング)



詳しくはコチラから
(市ホームページ)

議会報告会(意見交換会)の準備を開始!

毎年開催している議会報告会ですが、今年は、少し形を変えて、意見交換を中心とする会(意見交換会)を下記のとおり開催します。

開催に向けて、7月8日に準備会を立ち上げました。市民の皆さまが参加しやすい意見交換会となるような企画を考えていきますので、お気軽にご参加ください。



議会報告会準備会のメンバー

【日時・会場】

- 11月14日(木)午前10時 市役所南館4階大会議室
- 11月16日(土)午前10時 福祉センター 3階会議室1
- 11月16日(土)午後 2時 福祉センター 3階会議室1

※各回、意見交換のテーマは異なります。

※現在テーマを選定中です。

審議結果一覧

議案番号	件名	結果	内容
条例の一部改正			
報告1	市税条例	承認	ふるさと納税制度の見直しや住宅ローン控除の適用要件の緩和に関するもの
報告2	介護保険条例	承認	本年10月からの消費税率の引き上げにあわせて、低所得者の介護保険料を軽減するもので、保険料段階が第1段階から第3段階に該当する第1号被保険者の、今年度と来年度の保険料率を改定するもの
41	市税条例等	可決	地方税法の一部改正に伴い、関係条文を整備するもの
42	市立幼稚園の設置及び管理に関する条例及び市立保育所の設置及び管理に関する条例	可決	2・3ページの「注目の議案」をご覧ください。
43	自転車駐車場の設置及び管理に関する条例	可決	JR芦屋駅南自転車駐車場7及び8の供用を9月30日をもって廃止するもの
44	水道事業給水条例	可決	水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者の指定の更新に係る手数料等を定めるもの
45	火災予防条例	可決	住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、住宅用防災警報器等の設置の免除に係る規定を整理するもの
46	災害弔慰金の支給等に関する条例	可決	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正等に伴い、災害援護資金の貸付利率を引き下げるもの
補正予算			
47	一般会計(第1号)	可決	2・3ページの「注目の議案」をご覧ください。
契約の締結			
48	災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車の購入契約の締結	可決	災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車の購入について、条件付き一般競争入札の結果、株式会社スナミと2億3,166万円で契約しようとするもの
49	市立精道中学校建替工事請負契約の締結	可決	2・3ページの「注目の議案」をご覧ください。
その他			
報告3	丹波少年自然の家事務組合規約の変更に係る協議	承認	事務組合の構成市である「篠山市」が「丹波篠山市」に市名変更することに伴い、同事務組合規約の変更について、関係市町と協議する必要が生じたが、特に緊急を要したため、専決処分を行ったもの
36	監査委員の選任	同意	令和元年6月10日をもって任期が満了した委員の次期委員を選任するもの
37	副市長の選任	同意	令和元年6月19日をもって任期が満了した副市長の次期副市長を選任するもの
38	公平委員会委員の選任	同意	令和元年8月3日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
39	人権擁護委員の候補者の推薦	同意	令和元年9月30日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
40	人権擁護委員の候補者の推薦	同意	令和元年9月30日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
50	指定金融機関の指定	可決	本市では、昭和39年から三井住友銀行と三菱UFJ銀行の2行が1年置きで指定金融機関となっていたが、昨年6月に三菱UFJ銀行から辞退の申し出があったため、引き続き、現在の指定金融機関である三井住友銀行を指定しようとするもの。 指定期間は本年7月1日から令和2年3月31日までの9カ月間
議員提出議案			
1	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める決議	可決	9ページの「可決した決議」をご覧ください。
陳情			
1	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情(総務常任委員会)	結論を得ず	①辺野古新基地建設工事を直ちに中止し、普天間基地を運用停止にすること。 ②全国民が責任を持って、米軍基地が必要か否か、普天間基地の代替施設が国内に必要か否か当事者意識を持った国民的議論を行うこと。 ③国民的議論において、普天間基地の代替施設が国内に必要だという結論になるのであれば、沖縄の歴史及び米軍基地の偏在に鑑み、民主主義及び憲法の規定に基づき、一地域への一方的な押し付けとならないよう、公正で民主的な手続きにより解決すること。 以上、①～③を日本政府などに求めるもの
2	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情(総務常任委員会)	結論を得ず	同上
3	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書(総務常任委員会)	結論を得ず	日本政府に対し、「沖縄県民は先住民族」という国連の誤った認識と勧告の撤回を求めるもの
4	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情(総務常任委員会)	結論を得ず	宜野湾市民の安全な生活を守るために、米軍普天間飛行場の辺野古移設を日本政府などに求めるもの

※ は「賛否の分かれた議案」を表しています。 ※ 陳情は()内の委員会の審査結果です。

賛否の分かれた議案

本市議会では、賛否の分かれた議案に対する議員個人の賛否を「あしや市議会だより」と市議会ホームページで公開しています。今回賛否の分かれた議案の採決の結果は次のとおりです。

会派名	自由民主党 芦屋市議会議員団	日本共産党 芦屋市議会議員団	BE ASHIYA	公明党	あしや しみんのこえ	改革維新の会	会派に 属さない議員	議決結果																		
議員名 議案番号	福井 利道	松木 義昭	川上 あさえ	米田 哲也	福井 美奈子	ひろせ 久美子	平野 貞雄	川島 あゆみ	青山 暁	大塚 のぶお	中島 健一	帰山 和也	田原 俊彦	徳田 直彦	長谷 基弘	たかおか 知子	中村 亮介	大原 裕貴	浅海 洋一郎	寺前 尊文	山口 みさえ	結果	賛成	反対	棄権	
第42号議案	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	15	4	1
第47号議案	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	3	0

※「○」…賛成、「×」…反対、「欠」…欠席、「棄」…棄権、「除」…除斥、「一」…議長(議長は表決に参加しません。)

議会新体制の紹介

議長・副議長などを選出

第2回定例会初日(6月21日)に議長、副議長をはじめ、議会役員を選出しました。

また、各常任委員会や議会運営委員会の委員なども選任し、議会の新体制が整いましたので紹介します。



[議長] 中島 健一 [副議長] 寺前 尊文

【阪神水道企業団議会議員】
徳田 直彦
【監査委員(議会選出)】
福井 美奈子

【議会運営委員会】

委員長: 福井 利道
副委員長: 青山 暁
委員: 長谷 基弘、大原 裕貴
帰山 和也、ひろせ 久美子

【議会報編集委員会】

委員長: 中島 健一
副委員長: 寺前 尊文
委員: 川上 あさえ、大塚 のぶお
大原 裕貴、たかおか 知子
徳田 直彦、川島 あゆみ

常任委員会委員紹介

総務常任委員会



ひろせ 久美子 委員長 田原 俊彦 副委員長 川上 あさえ 委員 寺前 尊文 委員 たかおか 知子 委員 松木 義昭 委員 青山 暁 委員

民生文教常任委員会



帰山 和也 委員長 米田 哲也 副委員長 福井 利道 委員 大塚 のぶお 委員 大原 裕貴 委員 中村 亮介 委員 川島 あゆみ 委員

建設公営企業常任委員会



長谷 基弘 委員長 福井 美奈子 副委員長 山口 みさえ 委員 浅海 洋一郎 委員 中島 健一 委員 徳田 直彦 委員 平野 貞雄 委員

会派の結成状況

新議会では、6つの会派が結成されました。会派構成および正副幹事長は、右表の名簿のとおりです。

会派とは、議会内で同じ政策を志向する議員の集団です。本市議会では所属政党とは別に会派を結成することが慣例化しています。

会派制は、会派を単位とするため、効率的な議会運営ができる利点があります。

会派名簿(大会派・届出順)

(令和元年6月21日現在)

会派名	所属議員(◎幹事長 ○副幹事長)		
自由民主党 芦屋市議会議員団	◎福井 利道 米田 哲也	○松木 義昭 福井 美奈子	川上 あさえ
日本共産党 芦屋市議会議員団	◎ひろせ 久美子	○平野 貞雄	川島 あゆみ
BE ASHIYA	◎青山 暁	○大塚 のぶお	中島 健一
公明党	◎帰山 和也	○田原 俊彦	徳田 直彦
あしや しみんのこえ	◎長谷 基弘	○たかおか 知子	中村 亮介
改革維新の会	◎大原 裕貴	○浅海 洋一郎	寺前 尊文
会派に属さない議員	山口 みさえ		

議会のナゼ?なに?再発見! 議会クイズ 第27回

? 問題

新体制となった芦屋市議会で ①会派名が全てひらがな
は、6つの会派が結成されました。次の中で、存在しない会派
はどれでしょうか? ②会派名が全てアルファ
ベット ③会派名が全て数字
(出題者:川島あゆみ委員)

前回のクイズの答え

「本年4月の統一地方選により選ばれた議員の任期は6月11日
からですが、平成7年から生じている選挙日と任期開始のず
れの原因は何でしょうか?」の正解は、「②阪神・淡路大震災」で
した。 ※前回の応募件数は36件

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は11月発行予定のあしや市議会だより110号で発表
します。たくさんのご応募をお待ちしています。

■応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話
番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想
を明記してご応募ください。
※メールで応募する場合、件名は「第27回議会クイズ応募」としてください。

■応募締め切り

令和元年(2019年)9月20日(金)まで
※当日消印有効

■応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所 市議会事務局
メールアドレス:gijityousa@city.ashiya.lg.jp
※個人情報(賞品の発送以外)には使用いたしません。
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



QRコード(メールアドレス)

市議会ホームページで なにができる?



本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信して
います。また、会議終了後、おおむね
1週間後から1年間は録画配信もして
います。(令和元年第2回定例会から)
スマートフォンやタブレット端末でも閲
覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会・特別委員会の
会議録を調べたり、見たりできます。

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議
での一般質問・総括質問の質問順や
質問内容を掲載しています。

議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議
結果、議員一人一人の賛否などを公開
しています。また、委員会で使用する
資料や、委員会に送付した陳情書も公
開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出する
ための方法などを掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、
直接話したい場合などにご活用く
ださい。また、所属委員会・会派・政
党なども掲載しています。

政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交
際費の用途と金額を掲載しています。

今後もさらに内容を
充実させていきます
ので、ぜひご活用く
ださい。



9月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍
聴することができます。傍聴を希望される方は、日程が変更になること
がありますので、ホームページなどでお確かめの上、ご来場ください。

月	火	水	木	金	土	日
8/26	27	28	29	30 議会運営 委員会	31	9/1
2 本会議 (提案説明)	3 建設公営企業 常任委員会	4 民生文教 常任委員会	5 総務 常任委員会	6 委員会 (予備日)	7	8
9	10 議会運営 委員会	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議(一般質問等) ・決算特別委員会	14	15
16	17 委員会 (予備日)	18	19	20 議会運営 委員会	21	22
23	24 本会議 (決算以外採決)	25 決算特別 委員会	26 決算特別 委員会	27 決算特別 委員会	28	29
30	10/1	2	3 議会運営 委員会	4 本会議 (決算採決)	5	6

編集後記

市議会議員選挙を経て、令和
初の議会が始まりましたが、市
民の皆さまにおかれましては、
私たちを選んで終わりではあり
ません。選挙で「言っているこ
と」と、議会で「やっていること」
に乖離があるケースもあるでし
ょう。厳しい目で議会と当局を注
視してください。議会に緊張感
をもたらすためにも、今号をその
判断材料としてご活用ください。

【編集委員】
川上あさえ

○本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。